

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成13年9月17日

第24報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis wesenbergii</i> *	2		
(藍) <i>Microcystis incerta</i> *	20		
(藍) <i>Aphanocapsa elachista var. conferta</i> *	10		
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	10		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	120		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	40		
(珪) <i>Cyclotella sp.</i>	10		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis var. pusilla</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	100		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	60		
(緑) <i>Chlamydomonas sp.</i>	10		
(緑) <i>Carteria sp.</i>	10		
(緑) <i>Coelastrum cambricum</i>	40		
(緑) <i>Crucigenia mucronata</i>	40		
(緑) <i>Mougeotia sp.</i>	3		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	2		
(藍) 藍藻綱	42	8.5	28.4
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	120	24.1	4.6
(珪) 珪藻綱	70	14.1	10.8
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	160	32.2	27.1
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	105	21.1	29.1
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	497	総体積	6.65E+05
種 類 数	16	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

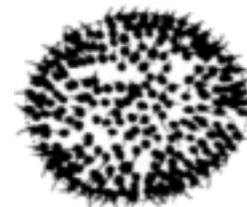
第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
甲 殻 類 <i>Bosmina longirostris</i>	80

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
甲 殻 類 <i>Eodiaptomus japonicus</i>	60

*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種

Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類



楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種

Bosmina longirostris
(ゾウミジンコ)
甲殻類



体は丸みを帯び、吻端の第1触角が長い
ためゾウミジンコと呼ばれている。

コメント:

植物プランクトンは淡水赤潮の原因となるウログレナ アメリカーナが優占種となった。しかしこの時期には淡水赤潮を形成したことはない。動物プランクトンはゾウミジンコが80個体/l計数され、優占種となった。本種は毎年この時期に観察される。